



Eiche

Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内

TEL 047-461-9111 FAX 047-461-7010

「御宿町歴史民族資料館」見学と懇親会 (千葉県日独協会主催・(財)日独協会)



中央 ビーダーマン文化副部長、右 田軸理事長

前列中央 関助教授、右 加藤会長、右端 伊藤元町長夫妻

うらかな早春のお天気に恵まれた2月6日(土)。ドイツ大使館のビーダーマン文化部副部長、TUVヴァルバウム検査官、(財)日独協会花井常務理事、河村理事、及び千葉県日独協会加藤会長らを初めとする一行二十名は、昼過ぎに外房線御宿駅に到着。御宿町役場の石田企画観光課長に町営のマイクバスでお出迎えを頂き、早速ドイツ・フランクフルトの「シュトルウヴヴェル・ペーター博物館」と姉妹提携している駅近くの(財)五倫文庫・歴史民族資料館、同文庫は明治25年(1892)、御宿小学校の伊藤鬼一郎校長が、同家に古くから伝わる寺子屋教科書を以て伊藤文庫(五倫前身)を創設したのが始まり。以来現代に至る迄64ヶ国3万2千冊余の義務教育教科書を集めて展示。そして文庫の一角に、ドイツ人なら誰でも知っている子供の寝童話「Der Struwwelpeter」(「ぼうぼうあたまのペーター」)の日本語版(初版1936年伊藤庸二訳)が展示されている。又、第二版刊行の推薦の辞を書かれた(財)日独協会参加者は川洋子氏の夫君、亡きフランクフルト大学結晶研究所長・是川正顕教授の手書き原稿(絶筆)も展示されていた。(財)五倫文庫の田軸武土理事長の詳しい説明を聞いた後、浜辺にある「月の沙漠記念像」へ。童話「月の沙漠」は大正12年御宿に滞在していた叙情画家・詩人の加藤まささをの作であり、近代的な記念館も建っている。

更にマイクバスは、江戸初期の1609年、御宿海岸沖で難破したメキシコ船「サンフランシスコ号」の乗員317名を救った町民の義舉を記念する「メキシコ記念塔」へ。岬の先端の丘の上にある為、太平洋が一望出来る。3時半過ぎに御宿町の関邦昭助役、吉田収入役、遠山教育長等要職が待たれる「波月荘」着。今回の見学行事実現に尽力された千葉県日独協会理事・理学博士伊藤治正元町長夫妻(上記訳者の伊藤庸二長男)、同理事・(株)ハーモニックドライブ・システムズ伊藤光昌社長(同三男)のご家族(ご息女と令息が独語通訳奉仕)も参加されての懇親会は大変有意義で盛況を極めた。

追記 役者・伊藤庸二(1901-1955)は、五倫文庫創設者の伊藤鬼一郎次男で元海軍技術大佐、東大電気科卒。1929年独ドレスデン工大で取得。旧海軍の電子技術(レーダー開発)、並びに戦後、日本のエレクトロニクス産業の先駆者といわれた。1955年3月政府より防衛技術研究所初代所長就任交渉を受けていたが、5月9日脳出血で急逝、行年54歳。(中川靖造「海軍技術研究所」講談社1987参照)

催物案内

■1999年度年次総会及び講演会と懇親会

第4回年次総会を下記にて開催。是非ご参集下さい。

日時：5月15日(土) 16:20PM～

場所：千葉そごう(JR総武線千葉駅より2分)

10階 ホテルオークラ「桃源」個室。

会費：5,500円(尚、総会及び講演会のみは無料)

■「横浜さとうのふるさと」とキリンビール工場見学

(千葉県日独協会(財)日独協会共催)

「オリゴのおかげ」の製造メーカーである塩水港精糖(株)の砂糖資料館を見学、同工場特製のつぶ糖を味わい、綿アメを作ってみましょう。(無料)その後、キリンビール生麦工場を見学、キリン・ピアブレッジにて、ここでしか飲めない“スプリング・ヴァレー”(ビール)を味わいながら懇親会を行います。

日時：6月5日(土) 12:45PM JR京浜東北線鶴見駅

東口 バス乗り場1番に集合。

参加費：2,500円(懇親会のみ)

交通費(バス代420円を含め)自弁

申込み：5月28日(金)迄に事務局 平田迄 TEL又はFAXにて。

■会員交流会 チターとドイツワインの会

恒例となりました内藤先生(当協会会員)のチター演奏会です。

日時：7月3日(土) 14:00PM

場所：TOMO (JR柏駅西口、左手にある三菱信託を左折

50m先右手の中崎ビル3F(0471)48-4711

会費：4,000円(同伴家族は、3,500円)

申込み：6月30日(水)迄に事務局 平田迄 TEL又はFAXにて。

<平成11年度 会費納入のお願い>

11年度会費未納の方は下記により6月末までにお振込みください。

◆個人会員 3,000円

◆法人会員 10,000円

【振込先】千葉興行銀行 船橋支店

普通 6141221

名義人 千葉県日独協会(又は同封の振込み用紙にて)

新入会員氏名

(敬称略)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1, 池田 敏恵(流山市) | 7, 柴田 松太郎(千葉市) |
| 2, 前 章義(習志野市) | 8, 古倉 克実(船橋市) |
| 3, 歌田 実(習志野市) | 9, ケーブラ植松 アネテ(松戸市) |
| 4, 大川 トシオ(市川市) | 10, 桑原 克久(松戸市) |
| 5, 坂本 隆夫(松戸市) | 11, 上條 弘(船橋市) |
| 6, 中嶋 昭(習志野市) | 12, 高松 百合子(船橋市) |

<新入会員募集中>

ご希望の方は表記事務局、平田事務局長までご連絡ください。

習志野文化講演会

「大正8年の青きドナウ」

平成11年2月20日(土)午後2時から千葉県・習志野市教育委員会と習志野市国際交流協会共催により、習志野市民会館においてボン大学教授ペーター・パンツァー博士(オーストリア国籍)が80年前の第一次世界大戦における千葉県習志野捕虜収容所のドイツ・オーストリア兵捕虜869名のことについて、博士の長年におよぶ研究成果を基に達者な日本語で約2時間にわたって公開講演し、市民のほか多数の日独協会会員が参加した。講演要旨次のとおり。「大正3年(1914)6月民族問題が渦巻くバルカン半島で、ボスニアの首都サラエボを訪問中のオーストリア皇太子夫妻がセルビア人青年に暗殺されるという事件を契機に、ヨーロッパ中が戦争の渦の中に呑み込まれていった。第一次世界大戦である。その当時オーストリア海軍巡洋艦『カイゼリン・エリザベート』(乗組員400名)は訪日親善巡航の帰途にあったが、日清・日露戦争を経験した日本が世界の列強に加わりうとしていたので針路を変え、中国にあるドイツの植民地青島(チンタオ)に入港した。

日本は日英同盟により連合国の一員として参戦し青島を攻撃した。77日の攻防の末チンタオ要塞が陥落、『カイゼリン・エリザベート』は自沈し降伏したドイツ・オーストリア軍人約4,500名が日本各地に設けられた捕虜収容所に収容された。大正4年(1915)9月には、548名(うちオーストリア海軍兵士30名)の捕虜が東京浅草の本願寺から習志野原の一角に設けられた習志野捕虜収容所に移された。「習志野捕虜収容所では、文化活動やスポーツ活動も活発で、住民との親善に務めオーケストラによる演奏会まで開いていた。」

今回パンツァー博士が発見した資料により、大正8年(1919)6月22日(日)夜、習志野原において第7回収容所捕虜オーケストラのコンサートで「美しき青きドナウ」が鳴り響いたことが確認されたが、満場の聴衆約350名は、博士の長年に渡る豊富な研究の成果と巧みな話術によって時の経つのも忘れ当時の世界に引き込まれていった。最後に「ユースフィル」による「美しき青きドナウ」の華麗な演奏が往時を偲ばせた。今年の年末には、習志野市教育委員会により捕虜解放(帰国)80周年に因り資料展等記念行事が企画されており、会員の皆様のご参加を期待しています。

(常任理事・事務局長・元陸自一佐 平田英男)